

令和5年12月末の犯罪発生状況



令和6年1月17日
(公社) 滋賀県防犯協会

滋賀県の刑法犯認知総数 7,771 件 (前年+941 件、+13.8%)

犯罪率 (人口1万人当たりの刑法犯認知件数) は全国ワースト 15 位

< 罪種別(手口)発生状況 前年比 >

	刑法犯総数	凶悪犯					粗暴犯	窃盗犯	侵入窃盗				
		殺人	強盗	放火	不同意性交等	空き巣			忍込み	居空き	その他		
												凶悪犯	
令和5年	7,771	64	7	5	10	42	717	4,868	426	89	35	16	286
令和4年	6,830	52	10	7	11	24	620	4,369	378	125	28	9	216
前年比	+941	+12	-3	-2	-1	+18	+97	+499	+48	-36	+7	+7	+70

	窃盗犯										知能犯		
	乗物盗					非侵入盗					詐欺	その他	
	自動車盗	オートバイ盗	自転車盗	置引き	車上ねらい	部品ねらい	万引き	その他					
令和5年	1,526	39	102	1,385	2,916	49	314	99	1,139	1,315	857	800	57
令和4年	1,367	71	85	1,211	2,624	71	289	179	1,032	1,053	664	595	69
前年比	+159	-32	+17	+174	+292	-22	+25	-80	+107	+262	+193	+205	-12

	風俗犯				その他の刑法犯			
	不同意わいせつ	公然わいせつ	頒布・姿態撮影等	住居侵入	器物損壊等	その他		
	令和5年	166	96	25	45	1,099	135	656
令和4年	97	66	28	3	1,028	142	627	259
前年比	+69	+30	-3	+42	+71	-7	+29	+49

○ 県内で発生する刑法犯の特徴

県内の刑法犯認知件数は、前年より941件(13.8%)増加しました。(減少を続けた刑法犯認知件数は前年から増加に転じています。)

罪種別には全てで増加していますが、特に窃盗犯、知能犯の増加が顕著となっています。

手口別には自転車盗、万引きが犯罪の総量を押し上げ、詐欺が前年の約1.4倍と急増しています。

○ 無施錠率の増加 ※無施錠被害件数/全体の被害件数×100(%)

住宅侵入窃盗 56.4%(前年+4.5ポイント)、自転車盗 70.2%(前年+1.7ポイント)、オートバイ盗 44.1%(前年+7.6ポイント)、自動車盗 46.2%(前年+29.3ポイント)、車上ねらい 51.6%(前年+1.8ポイント)と、いずれの手口でも無施錠率が増加しており、鍵かけ意識の低下が表れています。

< 各市町の認知件数(前年比)・犯罪率 >

市町別	認知件数			犯罪率 県55.0	市町別	認知件数			犯罪率 県55.0	市町別	認知件数			犯罪率 県55.0
	令和5年	令和4年	前年比			令和5年	令和4年	前年比			令和5年	令和4年	前年比	
大津市	1,927	1,732	+195	55.9	近江八幡市	408	363	+45	49.7	甲良町	27	27	±0	40.9
草津市	1,079	830	+249	78.0	竜王町	52	54	-2	45.0	多賀町	40	38	+2	53.6
栗東市	272	279	-7	38.5	日野町	112	81	+31	53.4	米原市	168	173	-5	44.5
守山市	393	287	+106	45.9	東近江市	537	451	+86	47.7	長浜市	720	590	+130	62.6
野洲市	206	217	-11	40.6	愛荘町	114	132	-18	53.4	高島市	230	237	-7	49.6
甲賀市	419	354	+65	47.1	彦根市	686	616	+70	61.4	発生地不明	42	48	-6	
湖南市	270	251	+19	49.4	豊郷町	69	69	±0	95.7					

○ 県内市町別の刑法犯発生状況

19市町中、11市町で前年より刑法犯認知件数が増加しており、特に大津市、草津市、守山市、長浜市の4市では前年より100件以上増加しています。

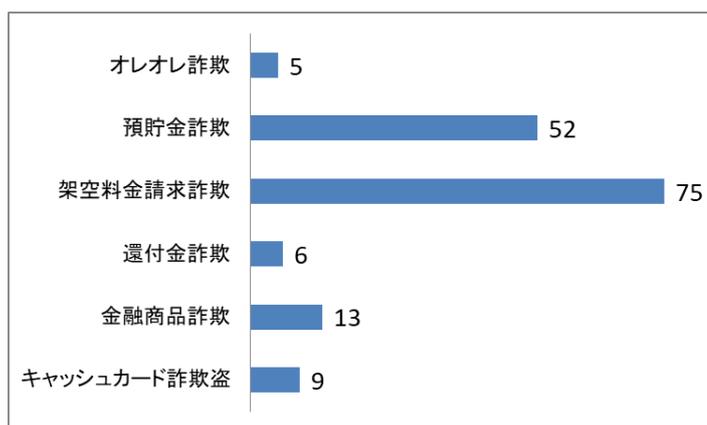
県の犯罪率(1万人当たりの刑法犯認知件数)は、55.0件と全国平均(56.1件)を下回ったものの前年より6.7件増加しました。

【特殊詐欺の発生状況】

発生件数 266 件(前年+134 件)、被害金額約 6 億 2,428 万円(前年+約 3 億 12 万円)となっています。高齢者(65 歳以上)の被害件数は 161 件(前年+61 件)、被害金額は約 4 億 919 万円(前年+約 2 億 2,062 万円)となり、件数に対する割合は 60.5%、被害額に対する割合は 65.5%を占めています。預貯金詐欺と架空料金請求詐欺が多く発生しています。

また、本年は投資詐欺(金融商品詐欺)が急増し、被害金額も高額となっています。

<高齢者被害の手口別>



手口別	金額(万円)	同手口被害金額に占める割合
オレオレ詐欺	3,598	83.9%
預貯金詐欺	4,407	88.4%
架空料金請求詐欺	13,159	63.1%
還付金詐欺	343	50.3%
金融商品詐欺	18,287	64.1%
キャッシュカード詐欺盗	1,092	100.0%

<県内市町別の発生状況> ※県外居住の被害者 2 件を除く

市町別	被害件数累計		被害金額(万円)		市町別	被害件数累計		被害金額(万円)	
		高齢者被害	累計	高齢者被害			高齢者被害	累計	高齢者被害
大津市	91	61	12,635	8,803	東近江市	14	4	1,675	547
草津市	35	26	9,984	4,059	愛荘町	4	3	32	28
栗東市	12	7	1,303	734	彦根市	13	8	2,233	797
守山市	20	12	4,451	3,576	豊郷町				
野洲市	9	5	6,621	4,947	甲良町				
甲賀市	5	4	1,699	1,656	多賀町				
湖南市	9	2	8,969	4,550	米原市	3	2	90	80
近江八幡市	6	3	358	132	長浜市	27	16	9,917	9,472
竜王町	1		18		高島市	8	4	718	44
日野町	7	4	1,692	1,496	県合計	264	161	62,395	40,921

<詐欺の特徴>

(1) 投資を名目とした詐欺が急増

- ① SNS の広告などから投資の LINE グループに参加する
- ② 先生と呼ばれる投資家や助手と個別にやり取りをするようになり、投資のアプリをダウンロードさせられる
- ③ 最初は少額で投資させられ、出金方法など丁寧に教えられるため信用してしまう
- ④ だんだん高額 of 投資をするようになる(アプリ上では多額の利益が出ている)
- ⑤ 出金しようとする時「手数料」や「税金」を求められ、最終的には相手と連絡が取れなくなる

※対策: 実在する証券会社や金融商品取引業者に確認する

(2) キャッシュカードを狙った詐欺に気をつけて

- ① 市役所職員などを騙った者から「還付金があります」などと自宅の固定電話に電話がある
- ② 手続と思って振込先の口座や暗証番号などを犯人に伝えてしまう
- ③ 犯人から「キャッシュカードが古いので交換に行くので待っていてください」などと言われる
- ④ 金融機関の職員を装った犯人が自宅を訪れ、言われるがままキャッシュカードを渡してしまう

※対策: 自宅の電話に防犯対策を。キャッシュカードは渡さない。暗証番号は教えない。